

令和6年度 事業実施状況

I 基盤整備（組織、財政等）

1 組織運営

（1）理事会、評議員会、監査会の開催

- ①第1回理事会 書面決議(4月1日)
 - ・常務理事の選任について
- ②第2回理事会 書面決議(5月7日)
 - ・評議員候補者2名推薦
- ③監査会(5月27日)
 - ・令和5年度一般会計、業務執行状況及び財産状況の監査
- ④第1回評議員選任解任委員会(6月12日)
- ⑤第3回理事会(6月13日)
 - ・令和5年度資金収支補正予算(第3次)の専決処理の承認について
 - ・令和5年度事業報告及び決算の承認について
 - ・理事選任議案の提案について
 - ・令和6年度定時評議員会の開催について
- ⑥第1回評議員会(6月27日)
 - ・令和5年度資金収支補正予算(第3次)の専決処理の承認について
 - ・令和5年度事業報告及び決算の承認について
 - ・理事の選任について
- ⑦中間監査会(10月25日)
 - ・上半期事業の中間監査
- ⑧第4回理事会(11月22日)
 - ・キャリアパス規則の一部改正(専決処理)について
 - ・令和6年度資金収支補正予算(第1次)について
 - ・令和6年度第2回評議員会の開催について
- ⑨第2回評議員会(12月4日)
 - ・令和6年度事業実施状況(上半期)について
 - ・令和6年度資金収支補正予算(第1次)
- ⑩第5回理事会(3月12日)
 - ・令和6年度資金収支補正予算(第2次)
 - ・定款の改正
 - ・就業規則の改正
 - ・育児・介護休業等に関する規則の改正
 - ・給与規程の改正
 - ・給与規則の改正
 - ・キャリアパス規則の改正
 - ・「理事及び監事選任要綱」及び「評議員選任規程」の改正
 - ・評議員選任・解任規程の廃止及び評議員選任・解任委員会運営細則の改正
 - ・令和7年度事業計画
 - ・令和7年度資金収支予算
 - ・令和6年度第3回評議員会の開催

⑪第3回評議員会（3月25日）

- ・令和6年度資金収支補正予算（第2次）
- ・定款の改正
- ・「理事及び監事選任要綱」及び「評議員選任規程」の改正
- ・評議員選任・解任規程の廃止及び評議員選任・解任委員会運営細則の改正
- ・令和7年度事業計画
- ・令和7年度資金収支予算

（2）内部委員会・検討会議・研修会

- ・社協職員代表者会（毎月）
- ・介護保険事業所、障がい福祉事業所経営改善検討会議（毎月）
- ・健康安全衛生委員会（毎月）
- ・健康安全衛生委員会主催研修会（年1回 12月13日）
- ・3課会（毎月）
- ・業務主任連絡会（初回10月16日～毎月）
- ・感染症対策委員会/BCP（年2回 9月11日・3月12日）
- ・災害対策委員会/BCP（5月20日・7月23日・9月3日・10月8日・11月6日・11月19日・12月17日）
- ・防災連携会議（9月25日・1月22日）
- ・虐待防止/身体拘束禁止委員会（年3回 10月22日・1月6日・2月5日）
- ・ICT普及/業務改善委員会（9月11日・12月3日・1月14日・2月13日・3月13日）
- ・障がい部門事業所連絡会（6月18日・9月17日・12月12日・2月18日）
- ・入職時新人研修（4月1日・随時）
- ・職員全体研修（年2回 1月17日・2月21日）
- ・係長研修（6月28日）
- ・主任研修（6月14日）
- ・第三者委員事業所訪問（7月～3月）
- ・第三者委員会（4月18日・6月25日）
- ・苦情対応システム研修会（第三者委員/職員 年1回 10月2日）
- ・上伊那ブロック社協職員研修会（年1回 2月1日）
- ・上伊那ブロック社協デイサービス部会（年1回 3月15日）
- ・上伊那ブロック社協ヘルパー部会（年3回 5月14日・10月15日・3月11日）
（研修会 11月30日・2月15日）

（3）社協会費

【納入状況】

- | | | |
|-----------|------------------------|-----------------------------|
| ・一般会員会費 | 1,000円 | 5,710世帯（5,912世帯） |
| ・特別会員会費 | 2,000円 | 120世帯（127世帯） |
| ・加入率 | 67.2%（68.7%） | |
| | 計5,944,280円 | （6,150,500円） |
| ・賛助法人会員会費 | 304法人送付 | 261法人納入 51法人新規訪問 内11法人納入 |
| | 計885,000円 | （813,000円）前年度より24法人増 |
| ・集金 | 一般・特別会員会費 | ：6月文書配付で依頼
（区・自治組合により集金） |
| ・法人会員会費 | 6月郵送依頼、11月会長・副会長・局長・次長 | 新規法人開拓訪問51法人 |

【会費の使途】

・法人運営（役員費）	816,000円
・地域福祉（福祉教育・サロン等）	4,229,996円
・地区社協活動費	1,783,284円

2 啓発事業等

- ① 社協報「社協こまがね」配布5回(4月・7月・10月・1月・3月発行)
- ② 第37回ふれあい広場 9月1日(日) 10:00～13:00 ふれあいセンターにて開催 参加41団体
ボランティア団体等の活動展示、障がい者就労支援施設製品等販売、ステージ発表等
- ③ 第73回長野県社会福祉大会「信州ふっころフェスティバル2024」11月2日(土)
表彰状授与 個人ボランティア表彰 4名 永年勤続表彰 6名
- ④ 視察研修受け入れ及び交流 茅野市社協 11月20日 28名
サロン・通いの場での活動について情報交換と活動発表
- ⑤ 上伊那圏域介護保険事業者研修会（オンライン開催）11月20日（水）参加40事業所
- ⑥ 第5回災害ボランティアセンター開設運営訓練
11月24日(日) 駒ヶ根文化センター 53名参加
災害用テント設置・資機材運搬・組み立て・稼働等
- ⑦ 第61回駒ヶ根市社会福祉大会 令和7年2月16日(日) 赤穂公民館にて開催
・表彰状授与 個人ボランティア表彰 9名 永年勤続表彰 4名
高額寄付(個人) 4名 高額寄付(団体) 3団体
・映画上映 「いまダンスをするのは誰だ」 観客動員数 230名
- ⑧ 宮城県女川町社会福祉協議会（友好都市社協）との交流
・7月31日 女川町社協事務局職員と今後の交流のありかたについて協議
・女川町社会福祉推進大会（11/22）及び駒ヶ根市社会福祉大会（2/16）において、双方の
物産を販売

II 地域福祉振興事業

1 相談事業・権利擁護・アウトリーチ等事業

（1）相談事業

- ① 心配ごと相談
・民生児童委員 4人が交代で：毎月開催 5件（4件）
・弁護士 4人が交代で：3ヶ月に1回（年4回） 15件（15件）
・司法書士会による相談（毎月第4木曜日年12回）利用者数 63件（62件）
- ② ふれあいよろず相談（ふれあいのまちづくり事業）
・相談利用者数 312人（315人）

【相談内容内訳】

生活資金貸付 23、生活福祉資金貸付 21 日自 25、独自金銭管理・財産保全 4、
食糧支援 138、あんしん創造ねっと 11 成年後見 7



(2) 金銭管理

① 日常生活自立支援事業（県社協受託 2,014千円 利用料 766千円）

契約総件数（R7.3月末現在）42件（40件）

- ・令和6年度新規契約者 5件（2件）
- ・新規契約者内訳（精神障がい1・知的障がい2・認知症2）

② 金銭管理サービス（市独自）

身体的理由による金銭管理

利用件数 6件（7件）内、財産保全サービス利用件数 3件（2件）

(3) 成年後見事業

- ・法人後見受任件数 10件（後見6、保佐3、補助1）（前年度8件（後見5、保佐3））
- ・運営委員会開催 1回（6月3日）
- ・受任審査会 2回（6月3日、2月25日）

2 生活困窮者支援

(1) 生活福祉資金融資斡旋（県社協受託）

- ・資金利用者（年度末現在） 0件（0）
- ・福祉資金（緊急小口資金） 0件（0）
- ・総合支援資金 0件（0）
- ・福祉資金 0件（0）
- ・教育支援資金 0件（0）



(2) 生活福祉資金特例貸付後の相談支援体制強化事業（県補助事業 5,962千円）

コロナ禍で生活に困窮した方への国の特例貸付（R2.3/25～R4.9月終了）償還が終わるまで、貸付者181人（311件）の生活状況の実態把握を行う事業 106人/181人

(3) 生活資金事業（市社協独自）

【貸付金の状況】

- ・貸付先件数 6件（7件）
- ・貸付金額 140,000円（195,000円）
- ・償還回収先件数 11件（32件）
- ・償還金額 124,000円（251,000円）
- ・不能欠損 4人 90,000円



(4) フードバンク事業

フードバンク（寄付して頂いた分）100件（47件） 3,723 kg（2,099 kg）

食料支援 138件（129件）

(5) 食料支援事業（休眠預金等活用事業）（上伊那ブロック社協共同事業）

R6.7月～R7.2月

休眠預金等活用事業を活用し、生活福祉資金特例貸付事業（コロナ特例貸付（R4.9月終了））利用者や、よろず相談、生活資金貸付相談等でつながった方、制度につながっていない世帯に対する食料品・日用品の支援

- ・7月（食料品40件）、8月（日用品32件）、9月（食料品30件）、10月（日用品30件）、11月（食

料品32件)、12月(日用品32件、灯油29件)、1月(食料品31件)、2月①(日用品33件)、
②(日用品・食料品13件)

3 重層的支援体制整備事業(アウトリーチ事業)(市受託事業 10,757千円)

複雑化・複合化した支援ニーズがあるものの、必要な支援が届いていない引き籠り等の潜在的な相談者を、各種会議や関係機関とのネットワークの中から把握し、本人との信頼関係を築きながら継続的な支援を実施した。

- ・相談件数 24件(20件)
- ・広報 各地区社協の会議・支え合い推進会議・地域支え合いサポーター養座・ふれあい広場・地域見守りネットワーク会議・民児協・サロン・他

4 各種福祉サービス等

(1) 移送サービス(福祉有償運送)(障がい者等生活圏拡大事業)

延べ利用回数

- ・有償運送 999回(1,031回)
- ・車両貸出 97回(90回)
- ・登録利用者数 89人(62回)
- ・協力ボランティア 19人(15回)

【主な利用】

通院、買物、行楽等



(2) 生活圏拡大事業(マイクロバス29人乗貸出)

- ・地区社協 10件(12件) サロン 8件(11件) ボランティア団体 1件(1件)
- ・障がい者等当事者団体 10件(7件) 高齢者 6件(8件) 学校 4件(7件)
- 合計39件(48件)

※地域への貸出しは原則土日祝祭日のみ。(平日は伊南桜木園送迎用として使用)

(3) こまちゃん宅福便

住民が会員となり相互に助け合う有償の生活支援事業として、利用者と協力会員の調整を行った。

- ・登録者 132人 協力会員 47人(21人)・利用会員 85人(61人)
- ・利用件数 延べ 1,023件(1,485件)
- ・利用状況 ①買い物付添177件(191件)②買い物代行157件(163件)③病院付添146件(219件)
④話し相手件65件(169件)⑤調理65件(148件)⑥掃除59件(65)⑦ゴミ出し53件(94件)⑧洗濯38件(65件)
- ・宅福便の交流会 令和7年3月5日 出席者16名 規約改正、普段の活動共有

(4) 高齢者世帯等家庭援助員等派遣事業(市受託事業)

①高齢者世帯等家庭援助員ヘルパー派遣

高齢者家庭援助世帯 0世帯/年 利用回数 0回/年(週3時間以内月～金)

②高齢者世帯等生活支援員派遣事業

利用者2人 延べ派遣件数 18件 18時間 支援員 2名

(5) ハッピーママサポート事業（市受託事業）

- ・出産家庭ヘルパー派遣 4世帯（22回）

(6) ふれあいセンター管理（市指定管理施設）

- ・室利用状況 延べ571団体（517団体）



(7) シルバーハウジング生活援助員派遣（市受託事業 2,094千円）

【入居対象世帯数】 19世帯

【稼働日】 月曜日～金曜日（祝祭日は除く）

【主な事業内容】

- ・生活相談・一時的な家事援助・緊急時の対応
- ・安否確認（住居訪問）1日2回（9:00～/15:00～）
- ・その他日常生活に必要な援助

【職員配置】専従常勤正規職員（介護福祉士）1名配置

日常生活援助（前年度）



入居	0件(3件)	身体介護	合計	479件 (0件)
退居	0件(2件)	【支援内容】服薬確認・湿布貼り他手当 (消毒)		
緊急通報合計	8件(9件)	排泄介助・入浴介助		
誤報	0件(2件)	食事介助		
鍵入れ忘れ	0件(0件)	相談・生活指導 (居宅) 合計	3,978件 (2,325件)	
水センサー作動	4件(5件)	【支援内容】安否・体調確認・水分補給・声掛け		
不明・その他	4件(2件)	換気・冷暖房使用声掛け		
家事援助合計	230件(155件)	困りごと・苦情聞き取り		
【支援内容】ゴミ出し・洗濯・布団干し		相談・生活指導 (団ら室) 合計	869件 (824件)	
外出準備・声掛け		【支援内容】血圧測定		
食事準備・摂食声掛け		書類等の代筆提出等		
集金・郵便物届け		困りごと・苦情聞き取り		
団らん室利用状況		レクリエーション・カルチャー等	29件 (12件)	

【施設整備】

- ・緊急システム点検（愛知時計）年1回 9月30日実施
- ・団らん室カーテン設置（8月）

【外部連携】

- ・町3区サロン「和みカフェ」毎月第3(水) 15回 実施
- ・スマホ教室 14回 実施
- ・入居者転倒による救急搬送 1件

5 福祉活動・ボランティア活動の振興

(1) ボランティア活動支援

① 災害支援

- ・令和6年2月20日～26日（7日間）中能登町災害ボランティアセンター 職員1名
- ・令和6年4月9日～10日 能登町災害ボランティアセンター
福祉を考える企業の会寄贈 軽トラック移送
- ・令和6年5月30日～6月1日（3日間）能登町 職員2名 一般ボランティア4名
- ・令和6年10月12日～14日（3日間）七尾市、輪島市 職員2名 一般ボランティア3名

- ・令和6年10月26日～11月1日（7日間）珠洲市災害ボランティアセンター 職員1名
- ② 福祉を考える企業の会（事務局） 協力会員数 122社（122社）
 - ・創立30周年記念式典 6月22日 47名出席
- ③ ボランティア保険 助成 1,048名（765名）
 - ボランティア連絡調整、育成支援・登録団体26 助成団体20グループ
 - ・上伊那ブロックボランティア交流研究集会 11月23日開催予定 12名
- ④ ボランティア連絡協議会開催
 - ・理事会（5月・7月・9月・3月実施）
- ⑤ 外国人支援活動（地球人ネットワークinこまがね・日本語教室との協力）
- ⑥ 当事者（障がい者）支援
 - ・虹の会（視覚障がい者）総会 会員数4名（4月24日 10名参加）
 - ・サウンドテーブルテニス（5月15日 6名）
 - ・さくらんぼ狩り（6月16日 11名）・ぶどう狩り（10月13日 11名）
 - ・いちご狩り（3月23日 11名）

（2）福祉教育活動支援

- ① 福祉教育推進校指定 市内9校への助成・推進校会議2回（5月20日、3月10日）
 - ・ボランティアスクール 赤穂中学校2学年総合的な学習の時間対応
 - ・赤穂小学校全校ふれあいの日（4年：視覚障がい者の理解、ボッチャ5年：手話、点字、音訳講座 6年：認知症の理解）
 - ・東伊那小学校 手話講座
- ② 福祉教育支援 5小学校2中学校2高等学校 ※助成金50,000円
 - 総合の時間・福祉学習支援・クラブ活動支援
- ③ わくわく体験 in summer（夏休み福祉体験）8月5日（月）～9日（金）
 - 1日目「聞こえない世界を体験してみよう手話体験」
 - 2日目「防災について学ぼう」
 - 3日目「みんなで作ろうスペシャル赤い羽根募金箱」
 - 4日目「郷土料理を楽しもう五平餅づくり」
 - 5日目「やってみよう！ぼっちゃ体験」
 - ※児童、生徒、ボランティア 166名参加

6 住民参加による地域福祉・支え合い事業の推進

（1）地区社会福祉協議会推進支援

- ・地区社会福祉連絡協議会連絡会
 - 年4回：5月17日・8月2日・11月18日・2月14日
 - 各区の活動報告と情報交換、市社協からの連絡
- ・担当地区の会議出席（総会、定期会議・支え合い推進会議他）
- ・支え合いのまちづくり研修会（市主催 7月3日 約50名参加）
 - （内容）①支え合いの地域づくりについて
 - ② 実践者報告
 - ③ 意見交換、グループワーク
- ・助成金配分（社協会費の地区ごとの納入金額の30%還元）
- ・ふれあい花壇 55カ所 育苗は地域のボランティア2名 総数10,290本（11,185本）

(2) 生活支援体制整備事業

①第1層生活支援コーディネーターの配置 (市受託事業 3,535千円)

【目的】高齢者や障がい者、子どもたちなどの社会的弱者にとって、既存の制度だけでは地域の中で暮らし続けていくことが困難な時代を迎え、住民同士の支え合いを行う生活支援は必要不可欠なものとなっている。生活支援体制の構築と同時に、人材確保も大きな課題となっており、地域活動に参加できる人材発掘、育成支援を推進した。

【内容】

- 1) 地域での介護予防推進と生活支援構築のための内部の組織づくり
地域との連携強化と課題把握を行うための地区担当制の強化
 - 2) 地域つながる相談会の創設
地域の困りごと解決と地域住民の意識改革のための社協地区担当、地域代表、当事者、市担当者などで行う地域個別会議
(5件実施 ごみ出し、独居認知症高齢者支援、ゴミ片付け支援など)
 - 3) 高齢者や障がい者に対する家庭廃棄物処理支援
民間事業者との連携による家庭ごみの事業者による直接収集の取り組み(4件)
 - 4) 高齢者の就労的支援
NPO法人との連携で行うボランティア登録者による、有償ボランティアとしての地域貢献と生き甲斐づくり支援
 - 5) 生活支援体制整備事業推進及び地域の組織づくり会議の開催、共催、参加
 - ・各区で行われている地区社協会議及び支え合い推進会議への参加
 - ・地区社協連絡会の開催
 - ・市役所との地域ケア推進会議への参加
 - ・第2層コーディネーター連絡会及び各区第2層コーディネーター懇談会の共催
 - ・上伊那地区第1層生活支援コーディネーター連絡会への参加
 - ・区役員や民生委員と行われた地域づくり研修会及び認知症勉強会の共催
 - ・ボランティア育成のための「地域支え合いサポーター養成講座」の開催
- ② いきいきサロン・通いの場等運営支援
いきいきサロン・通いの場への職員訪問(レク支援・運営助言他) 82回(57回)
体操、アロマ、ゲーム、歌、楽器演奏など実施
- ③ サロン交流会 12月5日 35名参加
担い手の課題共有、サロンお助け隊について、口腔ケア講座
- ④ 地域支え合いサポーター養成講座
9月13日、9月20日、9月27日開催 3日間70名参加
支え合いの地域づくりについて、認知症の理解、通いの場での基礎知識、レクレーション体験など
- ⑤ 地域支え合いサポーターフォローアップ講座 R7年2月28日 31名参加
能登半島地震から見た今後の対策、災害時避難所開設訓練

Ⅲ 共同募金配分金事業

1 共同募金配分金収入 4,110千円(R5年度実績)

2 実施事業

- ① 社協報発行
- ② 夏休み福祉わくわく体験
- ③ 地域見守り支え合い事業
- ④ 地域リーダー養成講座
- ⑤ 生活困窮者食糧支援



⑥ 高齢者の集い（地区ごとに高齢者等の集う場を開催支援）

実施地区 11地区実施（体操、ゲーム、歌謡ショー、外出交流など地区ごと工夫して実施）

3 配分事業

- ・地区社協育成、高齢者クラブ連合会、
- ・福祉団体・ボランティア団体助成、
- ・ふれあい花壇助成、地域見守り支え合い助成
- ・ふれあい広場助成
- ・特別支援学級教材教具助成
- ・児童遊園遊具補修 1地区、砂場の砂補充 3地区
- ・公募枠助成 2団体

IV 善意銀行関係事業

1 預託の状況（R6.4月1日～R7.3月31日）

(1)現金の部	一般預託	52件	1,591,078円	}	3,293,898 円
	車輛購入	1件	950,000円		
	児童福祉事業へ	5件	752,820円		
	(事業所指定寄付)				
	居宅介護支援事業所へ	2件	30,000円		
	伊南桜木園へ	1件	17,722円		
(2)物品の部	・ 白米、玄米、食料品、防災食、タオル 等				

2 払出の状況

(1)現金の部	① サロン支援・食糧支援車
	・ガソリン代、任意保険、軽自動車税、点検 等
	② 援護費
	・つながる食堂おいでなんしょ子ども食堂運営 助成10万円
	・つながるHUB子ども食堂運営 助成10万円
	・つながる食堂おいでなんしょ夏休み児童館カレー 助成3万円
	・10/20食料応援の日 配布用食料品 64,611円
	・サンタプロジェクト 助成10万円
	・3/24食料応援の日 配布用食料品 128,561円
	③ 車両購入（福祉有償運送用） 150万円
(2)物品の部	食料支援、子ども食堂等へ提供

児童福祉事業への活用を希望する寄付が増加していることから、子どもの居場所づくりを定期的に行う団体への助成事業を創設した。（令和7年度から実施）

V 介護保険事業（一部障がいサービス含む）

1 ふれあい訪問介護事業所

生活援助・身体介護 年中無休 24時間体制

（１）利用実績

種 別		利用人数・世帯 (毎月の実利用人数、世帯 の合計)		利用回数	
		R6	R5	R6	R5
介護保険	要介護(1～5)	481人	620人	4,915回	8,140回
	現行相当	87人	64人	556回	382回
	訪問介護A	141人	165人	506回	650回
障がい者	身体障がい者世帯	5世帯	5世帯	964回	1,042回
	知的障がい者世帯	8世帯	8世帯	577回	901回
	精神障がい者世帯	18世帯	16世帯	1,141回	1,219回
	移動支援（通院介助）	3世帯	世帯	31回	55回

要介護 通院乗降介助3世帯延べ194回

【地域連携】

- ・事業を通し係る地域住民へ社協事業、介護、障がい福祉等の必要な情報提供をする

【施設整備】

- ・ICTの活用（記録ソフト導入による生産性向上）

導入費用（５年分）1,970千円（県介護テクノロジー一定着支援補助金 632千円）

（２）決算（事業活動計算書）

(千円)

種 別		R6	R5	増減 (R6-R5)
サービス 活動収益	介護保険訪問介護	23,672	32,895	△9,223
	障がい居宅介護	12,997	12,825	172
	計	36,669	45,720	△9,051
サービス活動費用計		36,984	46,948	△9,964
当期活動増減差額		△1,580	△2,460	880

【増減の要因】

○介護保険

- ・人員体制に見合った受け入れの調整の訪問件数減。
- ・介護報酬の引き下げによる減収

○障がい者

- ・人員体制に見合った受け入れの調整の訪問件数減ではあるが、これまで「家事支援」とされていたサービスが、自立支援（見守り的支援）のためのサービスとして「身体介護」で算定できたことで収入は大きく減少とはならず、維持できた。

【課題解決に向けた取り組み・令和7年度力を入れて実施する内容】

○介護保険

- ・人員の安定・確保。ICT化の推進で、空き時間を創出して、サービスの質の向上で新規利用者獲得につなげ、稼働率のUPに努める。

○障がい者

- ・困難事例を積極的に受け入れる。
- ・困難事例に対応できるよう、専門知識や技術の資質向上を主とした研修に参加できる環境を整える。

2 居宅介護支援事業所

主任ケアマネジャー2名 ケアマネジャー3名 特定事業所加算Ⅲ 24時間電話対応

(1) 利用実績

介護種別	延べ人数 (人)		月平均数 (件)	
	R6	R5	R6	R5
介護	1,547	1,513	129	126
現行 (予防)	28	26	2	2
総合事業	0	0	0	0
合計	1,575	1,539	131	128
来所による介護相談	3件	8件		



【地域連携】

- ・中沢民生ミーティング (隔月) ・中沢支え合い推進会議 ・やまびこ茶屋 (4・6・8月)
- ・地域サロン参加 ・駒ヶ根市ケアマネ連絡会 (隔月：全地区民生委員・SCとの連携含)

【施設整備】 PC更新2台

(2) 決算 (事業活動計算書)

(千円)

種 別	R6	R5	増減 (R6-R5)
サービス活動収益	26,844	28,073	△1,228
サービス活動費用計	25,120	25,143	△23
当期活動増減差額	691	1,980	△1,288

【増減の要因】

- ・収入減は、常勤専従職員が4人から3人になったことにより、特定事業所加算がⅡ→Ⅲになったため。
- ・支出減は、経費節約に努めた。

【課題解決に向けた取り組み・令和7年度力を入れて実施する内容】

- ・特定事業所加算はⅢを継続。新規も継続して受ける。
- ・困難ケースが多数依頼されており、市役所等との連携を密にする。

3 大原こだま園通所介護事業所

地域密着型通所介護 利用定員 18名 (通所型A6・基準該当生活介護含む)
利用定員外 若干名 (通所型A7/自費利用通所介護)

(1) 利用実績

事業実施日数 303日 (前年度309)
延べ利用者数 3,978人 (4,311)
機能訓練実施日数 153日
平均介護度 2.6 (2.3)



区 分	要介護	現行相当 A6	通所型 A7	障がい (基準該当)	自費 利用	合 計	
						R6	R5
現在契約数	31	6	6	5	1	49	46
延べ利用者数	3,071	279	191	408	38	3,978	4,311
1日平均利用者数	10.1	0.9	0.6	1.3	0.12	13.0	14.28
一般入浴利用者数	1,905	272	149	249	32	2,607	2,900
特殊入浴利用者数	782	0	0	46	0	828	833
1日平均入浴者数	8.8	0.8	0.4	0.8	0.1	10.9	12.4
機能訓練延べ人数	471	0	0	0	0	471	0
1日平均訓練者数	3.0	0	0	0	0	3.0	0
平均稼働率	(延べ利用者数÷事業実施日数÷定員18名) 73.1% (R5: 80.3%)						
地域交流 地域貢献	延べ138日・延べ326名(2.3人/日) ・団体ボランティア(101団体 276名) ・個人ボランティア(37回 42名) ・運営推進会議(6月11日、R7年3月18日) ・障がい者グループホームほほえみの家合同防災避難訓練(9月7日) ・福岡区高齢者クラブ環境整備(9月20日 8名) ・福祉避難所開設訓練(12月15日) ・福岡区災害時応援協定締結(R7年2月27日)						
体験・実習・研修	・飯田短期大学 5月10日・13日・14日・16日・17日・20日～24日延べ10日10人 ・青年海外協力隊 5月31日・6月7日 延べ2日 6人 9月27日・10月4日 延べ2日 10人 R7年2月14日・2月21日 延べ2日 6人 ・公衆衛生専門学校 11月5日～7日・11月13日～15日 延べ6日 12人 ・松本大学 R7年2月3日～7日 延べ5日 5人						
行 事	お花見弁当・五平餅・おはぎ作り・音楽会・ほほえみの家合同夏祭り こだま喫茶・繭玉作り・ぼたもち作り						
施設整備等	・4月 循環ろ過機交換 PC1台更新 ・6月 給付管理ソフトライセンス更新5年分(836千円) ・8月 食堂エアコン更新(470千円) ・12月 送迎車2台減車 1台更新 (1,910千円) 〔随時〕 送迎車両 車検、定期点検、修理 夏・冬タイヤ更新 車イス、歩行器等 介護用品の点検、補修、更新 日常設備点検、環境整備、防災用品、感染症対策用品の購入、更新、浴槽水質検査						

(2) 決算 (事業活動計算書)

(千円)

種 別		R6	R5	増減 (R6-R5)
サービス 活動収益	介護保険	40,779	42,267	△1,488
	障がい福祉	3,495	2,725	769
	補助金	50	338	△288
	計	44,324	45,331	△1,006
サービス活動費用計		46,952	46,221	731
当期活動増減差額		△3,116	△1,271	△1,845



※ 人件費積立金 4,000千円取崩し

【増減の要因】 ・新規利用者の確保に取り組んでいるが、利用者減少に対する確保効果に繋がっていない。 ・感染症等による急なキャンセル、死亡、入所、入院が非常に多かった。
【課題解決に向けた取り組み・令和7年度力を入れて実施する内容】 ・随時、各関係者に空き情報を流し、新規確保と1人の利用回数の増に取り組んでいく。 ・利用者、家族ニーズにマッチした柔軟な利用方法の提案、提供に努める。 ・行事や日々の過ごし方等の中で、新しい事に取り組み、利用者さんやご家族・各関係者の世代ニーズに沿った、「毎日でも来園したくなるようなデイサービス」を目指していく。 具体的な取り組みとして、月1回こだま食堂（選択食や一緒に調理等）、こだま菜園（利用者さんと野菜の育成）、アニマルレクレーション、リラクゼーションデー、お花見や馬見塚祭りへの外出等を企画し、広報の在り方も工夫していきます。
【増収に向けた新たな取り組み】 ・5月～機能訓練指導員採用により「個別機能訓練加算」新規算定 ・7月～管理栄養士採用により「栄養マネジメント加算」新規算定

4 竜東やまびこ園通所介護事業所

通常規模型通所介護 利用定員 39名（通所型A6含む）
利用定員外 若干名（通所型A7/自費利用通所介護）

(1) 利用実績

事業実施日数 257日（前年度 255日）
機能訓練実施日数 252日（254日）
延べ利用者数 7,410人（7,768人）
平均介護度 2.5（2.3）



区 分	要介護	現行相当 A6	通所型 A7	自費 利用	合計	
					R6	R5
現在契約数 (人)	58	8	1	0	67	63
延べ利用者数 (人)	7,056	325	29	0	7,410	7,768
1日平均利用者数 (人)	27.4	1.26	0.09	0	28.8	30.3
一般入浴利用者数 (人)	5,533	254	22	0	5,809	6,382
特殊入浴利用者数 (人)	1,197	0	0	0	1,197	863
1日平均入浴者数 (人)	26.1	0.9	0.08	0	27.2	28.2
機能訓練延べ人数 (人)	6,285	295	31	0	6,611	6,933
1日平均訓練者数 (人)	24.9	1.1	0.1	0	26.2	27.1
平均稼働率	(延べ利用者数÷事業実施日数÷定員39名) 73.8% (R5: 78.1%)					
地域貢献	中沢支え合い推進会議、地域サロン等参加協力、物品貸出、周辺草刈り、ゴミ拾い、地域内独居高齢者見守り支援等の活動、自費昼食提供、災害対応自動販売機設置、豪雨災害時一時避難所指定 他					
やまびこ茶屋	4月27日（土）23名 6月22日（土）19名 8月24日（土）18名 10月26日（土）18名 12月21日（土）18名					

地域交流	延べ213日・延べ735人（3.45人/日） 利用者家族・保育園児・小、中高生・青年海外協力隊（5/31、6/7、9/27）地域個人、団体ボランティア、地域交流①中沢駐在所上村さん講話（8/19）②本曾倉上村さん講話（8/9）ふれあい花壇植え付け（6/2 55名参加）日本福祉大生ボラ8/19、20 1名 卒業リボン作成・配布 3校
体験・実習・研修	社会福祉士実習生見学受入、赤中生5/22～24 2名、駒工生7/29～31 1名、11/25初任者研修 1名
施設整備等	・5月 ホール西側エアコン更新（641千円） ・6月 ふれあい花壇整備・周辺道路草刈り作業・環境整備 ・7月 ノートPC 1台更新 ・7月 ボイラー定期点検 ・9月 特殊入浴機械点検 ・3月 消防用設備点検 園庭整備 [随時] 送迎車両 車検、定期点検、修理 夏・冬タイヤ更新 車イス、歩行器等介護用品の点検、補修、更新 日常設備点検、環境整備、防災用品、感染症対策用品の購入、更新 浴槽水質検査

（２）決算（事業活動計算書）

（千円）

種 別		R6	R5	増減 (R6-R5)
サービス 活動収益	介護保険	80,715	82,893	△2,178
	補助金等	64	524	△488
	計	80,779	83,417	△2,638
サービス活動費用計		79,219	82,926	△3,707
当期活動増減差額		△797	△1,552	754

【増減の要因】

- ・コロナウイルスの感染が5類になっても利用を控える人がいた。
- ・ショートステイや体調不良、都合等で利用者のキャンセルが増え稼働率が低下している。
- ・施設入所や死亡等の終了ケースが新規利用者に対して多い。

【課題解決に向けた取り組み・令和7年度力を入れて実施する内容】

- ・地域福祉係と協働し竜東地区サロンへ啓蒙活動としての参加
- ・感染症対策や衛生管理の徹底
- ・パンフレットを更新し居宅事業所・地域包括支援センター・サロン等パンフレットの配布
- ・利用者アンケートの意見を参考に利用者のニーズに合わせた個別ケアの提供を行う

【増収に向けた新たな取り組み】

- ・7月～管理栄養士採用により「栄養マネジメント加算」新規算定

VI 障がい者福祉事業

1 障がい者就労支援センター 伊南桜木園（駒ヶ根市指定管理施設）

就労継続支援B型事業 定員25人

（１）利用実績

	R6	R5
実利用者数	35人	31人
開所日数	249日	246日
延べ利用者数	7,491人	6,354人
1日平均利用者数	30.1人	25.8人
稼働率	120.4%	103.2%

【行事・地域連携等】

誕生日会、昼食会、暑気払い、バスハイク、防災避難訓練、クリスマス会、年度末慰労昼食会

（２）事業及び工賃等の状況

項目		総売上げ収益額		増減	増減率
		R6	R5		
総売上げ収益額		8,075千円	7,374千円	700千円	109%
内 訳	受託事業	2,718千円	2,353千円	365千円	115%
		有賀製作所、アド・プランニング、シンセイ、日精技研、ケイティ ケイ・アグリコ・関島企画			
	自主製品	1,684千円	1,679千円	5千円	100%
		EMぼかし・さしみこんにゃく・梅ジュース・りんごと人参のミッ クスジュース・切干大根・ブルーベリージャム・カップケーキ・ク ッキー・パイ・ドライな玉ねぎ			
	施設外就労	3,671千円	3,341千円	330千円	110%
		ケイティケイ・中日本ハイウェイ・農法なかざわ・ぱばな農園・柚 木農園・木下農園・野溝農園・戸澤農園・村上農園・天の中川千竜 農園・七久保栗の杜・農園 雅・岩見農園・伊南資源			
利用者支給総額		8,075千円	7,322千円	752千円	110%
一人当たり工賃（月額）		22,357円	19,384円	2,973円	115%
イベント・販売会 地域交流		・伊那市役所・伊那市社協・中沢の夏まつり・ナイスハートバザール・シンポジウム・どんぐり祭り・ふれあい広場・やまびこ茶屋・軽トラ市・社会福祉大会・飯島ミュージックウェーブ・民生児童委員会・福祉を考える企業の会・希望とふれ愛事業			
施設整備		・公用車1台追加 1台更新 （1,959千円） ・パソコン3台更新（413千円）			

(3) 施設外就労

施設外就労先	作業内容	期間
(株) ケイティケイ駒ヶ根工場	トナーカートリッジ再生ラインの周辺作業	通年
(株) 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋	ゴミの分別作業、花苗植え替え作業	年3回
農法なかざわ	柿作業	
ぱぱな農園	野沢菜収穫作業	
柚木農園	野菜苗植え付け、除草作業など	
木下農園	野菜、果物収穫、除草作業など	
天の中川千竜農園	栗の収穫作業、いが拾い作業	
七久保栗の杜	栗の収穫作業、いが拾い作業	
野溝農園	畑片付け作業、種まき、ごま畑の片付け	
戸澤農園	ごま畑除草、収穫	
村上農園	あんず、りんご、桃の枝の片付け	
農園 雅	アスパラ畑除草、いんげんの仕分け	
岩見農園	きゅうり除草、じゃがいも収穫	
(有) 伊南資源	資源物の回収	

(4) 決算

(千円)

種 別		R6	R5	増減
サービス活動収益	就労支援事業	8,307	7,461	846
	障害福祉サービス	57,902	45,760	12,141
	補助金等	67	230	△163
	計	66,278	53,452	12,826
サービス活動費用計		56,692	51,843	4,849
当期活動増減差額		8,817	1,050	7,767

※人件費積立金へ4,000千円を積み立て

【増減の要因】 ・ 自主製品売上が好調だった。新商品の開発ができた。 ・ 新規の利用者が増え、出勤率がよかった。 ・ 施設外就労場所が増えた。
【課題解決に向けた取り組み・令和7年度力を入れて実施する内容】 ・ 今後も利用者確保と出勤率の維持をしていく。 ・ 自主製品の増量を目指したい。 ・ 昨年度の実績の維持を目指したい。

2 障がい者自立支援センターたんぽぽの家（駒ヶ根市指定管理施設）

就労支援B型事業 定員20人

(1) 利用実績

	R6	R5
実利用者数	27人	27人
実施日数	242日	245日
延べ利用者数	4,848人	4,461人
1日平均	19.8人	18.5人

(2) 事業及び工賃等の状況

項目		総売上げ収益額		増減	増減率
		R6	R5		
就労支援		4, 832千円	4, 378千円	453千円	110%
内 訳	受託事業	3, 132 千円	2, 795 千円	337 千円	112%
		企業製品糸切、月刊広告配布、印刷機器パーツの洗浄・組立)			
	自主製品	1, 542千円	1, 483千円	58, 660円	104%
		牛乳パックイス、手芸品、菓子、名刺、カレー販売、その他不定期の売上等			
	自販機売上	157千円	129千円	27, 880円	122%
利用者支給総額		4, 800千円	4, 378千円	421千円	109%
一人当たり工賃（月額）		20, 321円	19, 687円	634円	103%
地域活動支援 支払総額		33, 751円	30, 523円	△3, 736円	90%
〃 一人当たり支払額		4, 219円	3, 124円	1, 095円	135%
イベント・販売会・地域交流		ふれあいの集い、ふれあい広場、やまびこ茶屋等			
施設整備		冷暖房修繕			

(3) 決算

種 別		R6	R5	増減
サービス 活動収益	就労支援事業	5,072	4,713	359
	障害福祉サービス	41,249	36,002	5,247
	補助金等	50	230	△180
	計	46,372	40,946	5,426
サービス活動費用計		42,803	37,572	5,230
当期活動増減差額		1140	691	448

【増減の要因】

・毎日通所の利用者、新規の利用者が増えた。

【課題解決に向けた取り組み・令和7年度力をいれて実施する内容】

・伊那西高校等に訪問し、就職が困難な学生の受け入れが可能であることを伝えていく。

3 指定特定相談支援事業所たんぽぽ

障がいがある方が障がい福祉サービスを利用する事で、希望する援助や解決すべき課題について取り組むことが出来るように、援助体制の構築や計画作成の支援をした。

(1) 利用実績

	R6	R5
計画件数計	276件	249件
障がい（利用支援）	84件	78件
障がい（継続支援）	188件	176件
児童（利用支援）	3件	2件
児童（継続支援）	1件	3件

【施設整備】・PC 1台 ・シュレッダー 1台

(2) 決算（事業活動計算書）

（千円）

種 別	R6	R5	増減
サービス活動収益	4,329	4,020	309
サービス活動費用計	5,592	5,724	△131
当期活動増減差額	△82	△206	124

【増減の要因】

支援チームとして関係構築を行い適切な支援会議を行ったこと。また、地域の身近な相談所としての相談対応を継続して行っていることなどが利用増につながっていると考えられる。

【課題解決に向けた取り組み・令和7年度力を入れて実施する内容】

児童計画相談を引続き推進する。
令和7年度は、地域活動支援センターの事業の拡充に合わせて、障がい者支援基盤の推進を図ります。

4 障がい者センター高砂園（駒ヶ根市指定管理施設）

地域活動支援センターの活動のほか、サークル活動への支援、貸館手続き、日常の相談業務
市からの委託料 9,000千円

(1) 利用実績

事業内容	R6	R5
地活等利用団体数	726団体	594団体
サークル等利用人数	5,377人	5,611人
貸館等利用団体数	53団体	47団体
地域活動支援相談数	2,150件	1,646件

【増減の要因】

・新規の団体 ・子供服リユース利用者が増加した。

【課題解決に向けた取り組み・令和7年度力を入れて実施する内容】

・地域活動支援センターを定期的に実施できるようにする。（講座・研修会など）

【施設整備】 ・エアコン設置（こども室） ・玄関ポーチ修繕

5 障がい者居宅介護等事業

「V 介護保険事業」－「1 ふれあい訪問介護事業所」 に記載

6 同行援護事業 視覚障害者世帯 月平均2世帯 延利用者数 92回（前年度 85回）**7 行動援護事業** 0世帯（0世帯）**8 地域支援事業**（障がい者の移動支援）

・月平均 0世帯 延べ利用者回数 0回（0回）



9 グループホームいなほ

介護サービス包括型共同生活援助 定員6名 女性のみ

(1) 利用実績

延べ利用者数		1日利用者数		稼働率		平均支援区分	
R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5
1,961人	2,068人	5.6人	5.66人	93.0%	94.3%	2.66	2.28

年間行事の状況	両GH合同利用者家族職員食事会 (5/13) 両GH合同バーベキュー (8/19) 紅葉ドライブ (11/17) クリスマス会 (12/24) 買い物外出・誕生日会・入居者・職員ミーティング (毎月)
地域交流	いなほ地域運営推進会議 (6月15日) 地域ボランティアさんによる草刈り庭木の剪定 (季節に3~4回)
防災避難訓練	上半期1回実施 (8月29日) 下半期1回実施 (3月17日)
施設整備	5月 エアコン2台更新 (居室2部屋) (219千円)

(2) 決算 (事業活動計算書)

(千円)

種 別	R6	R5	増減 (R6-R5)
サービス活動収益	13,051	14,439	△1,387
サービス活動費用計	13,595	13,189	406
当期活動増減差額	△538	1,253	△1,791

【増減の要因】
・職員配置変更により看護師配置加算が算定できなくなった。
・入居者1名11月退居に伴う空床により減収となった。
【課題解決に向けた取り組み・令和7年度力を入れて実施する内容】
・区分変更等心身状況に合った給付費の適正化。
・入居者様の体調管理の継続による空床ゼロ。
・個々の「夢の充実」に力を入れる。
・今年度は災害時の避難方法をより具体的にしたい。(全員の居室に靴を常備する)
【増収に向けた新たな取り組み】
・介護福祉士配置による「福祉専門職員配置加算」新規算定

10 グループホームほほえみの家

介護サービス包括型共同生活援助 定員7名 男女混合

(1) 利用実績

延べ利用者数		1日利用者数		稼働率		平均支援区分	
R6	R5	R6	R5	R6	R5	R6	R5
2,455人	2,345人	6.73人	6.42人	96.1%	91.7%	2.42	2.30

年間行事の状況	両GH合同利用者家族職員食事会 (5/13) 両GH合同バーベキュー (8/19) 紅葉ドライブ (11/17) クリスマス会 (12/24) 買い物外出・誕生日会・入居者・職員ミーティング (毎月)
---------	--

地域交流	大原こだま園合同地域連携運営推進会議（6月11日・3月18日） 大原こだま園合同夏祭り（8月24日） 福岡区高齢者クラブ福寿会の方々による環境整備作業（9月20日） 福岡区災害時応援協定締結（2月27日）
防災避難訓練	上半期実施大原こだま園合同防災避難訓練（9月7日） 下半期実施（3月21日）
施設整備	7月 ウッドデッキ全面改修 （1,633千円）

（２）決算（事業活動計算書）

（千円）

種 別	R6	R5	増減
サービス活動収益	15,817	16,372	△554
サービス活動費用計	13,857	12,572	1,284
当期活動増減差額	1,632	3,747	△2,115

【増減の要因】 ・職員配置変更により看護師配置加算が算定できなくなった。 ・毎年入院する入居者様が体調良く一年過ごせて安定した収入になった。
【課題解決に向けた取り組み・令和7年度力を入れて実施する内容】 ・区分変更等心身状況に合った給付費の適正化。 ・入居者様の体調管理の継続による空床ゼロ。 ・個々の「夢の充実」に力を入れる。 ・今年度は災害時の避難方法をより具体的にしたい。（全員の居室に靴を常備する）
【増収に向けた新たな取り組み】 ・介護福祉士配置による「福祉専門職員配置加算」新規算定